

たけた

市議会だより

2011.8.1

No. 24



シリーズ
祭

夏越祭りで出会った、人の絆がたぐひなく微笑ましい光景。
「神輿」の下をくぐると無病息災のご利益が得られると云われています。



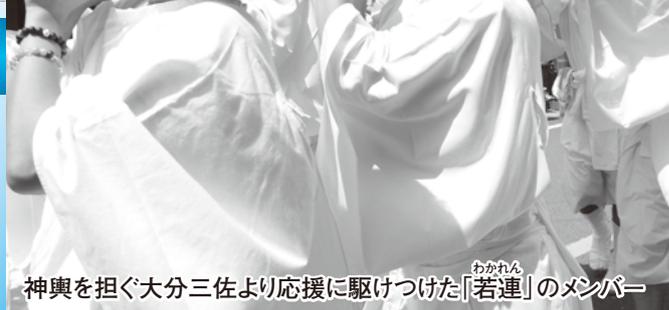
竹田夏越祭り

「チョーサジャ」(ドドンコ、ドンドン)——。

子ども神輿の囃し言葉が町に響き渡れば、城下町竹田の夏は、本番を迎える。

270年の長い歴史を持つ、竹田の夏の風物詩「竹田夏越祭り」が7月23日、24日に行なわれました。

「市議会だより」の表紙は今回から「祭りシリーズ」をお届けします。



神輿を担ぐ大分三佐より応援に駆けつけた「^{わかれん}若連」のメンバー

就任ごあいさつ

竹田市の希望の処方箋を！



議長 加藤 正義



副議長 和田 幸生

市民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私どもは、先の第2回定例会におきまして、議長、副議長という大役を仰せつかり、その責任の重大さ

内外の情勢は大きく動いています。少子高齢化の進展はスピードを増し、経済不況の波は地方にも及び、地域はそのあり方に

こうした事態にあつて、私どもは襟を正し、崇高な志を持ち、現実と向き合い、確かな地歩を固めながら、的確な判断のもとに、本市における

防災対策・雇用対策・社会資本整備など、幅広い市民の要請に適切に対応していくことが喫緊の課題であると

本市の基幹産業である地域農業は、観光は、商店街は、人口減対策は、等々、

この4月には、地域主権改革関連三法が成立し、地方議会の果たす役割はますます重要となりました。

私たちの責務は「竹田市の希望の処方箋」を創りあげていくことにあります。

そのためには、常に「市民の皆様と共に」が礎でなければなりません。

「良識の府」とも言われる、議会に

平成23年竹田市議会第2回定例会で新しい委員会構成が決定しました。(◎委員長 ○副委員長)

委員会構成

常任委員会

Table with 5 columns: Department, Chairman, Deputy Chairman, Members. Includes sections for General Affairs, Industry Construction, and Social Education.

議会運営委員会

Table with 5 columns: Chairman, Deputy Chairman, Members.

議会改革調査特別委員会

Table with 5 columns: Chairman, Deputy Chairman, Members.

市議会だより編集委員会

Table with 5 columns: Chairman, Deputy Chairman, Members.

会派

(◎会長 ○副会長 ●事務局長)

Table listing political clubs and their members, including New Policy Club, New Wind Club, Green Wind Club, and仁政Club.

ふさわしい熱い議論を展開いたします。市民の皆様と共に輝きを増す「議会」でありたいと深甚なる想いを抱いているところです。

すのご健勝とご発展を心からお祈りいたしますとともに、市議会に対する温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

補正予算(5,074万円)ほか2件を可決・承認

予算特別委員会 委員長 徳永 信二

第2回定例会・予算特別委員会が6月16日、24日の両日開催され、付託された3案件を慎重審査した結果、専決処分された予算の報告2案件を承認、補正予算1案件を可決した。

承認した専決予算のうち平成22年度一般会計補正予算(第10号)の主な内容は、歳入では特別交付税の額が3億1,161万7千円増となり、歳出では財政調整基金積立金1億5,461万6千円、公共施設基金積立金1億5,000万円であった。

平成23年度一般会計補正予算(第1号)の主な内容は、東日本大震災被災者見舞金300万円、湯水緊急対策事業費補助金1,500万円など、いずれも早急に対応が必要なものであった。

また、可決した平成23年度一般会計補正予算(第2号)は5,074万円の増額で、予算総額は179億4,594万円となった。その主な内容は、総務費ではエコミュージアム地域資源発掘事業345万5千円、農村回帰支援事業301万9千円などの継続事業、民生費では、高齢者生活支援事業360万円、地域子育て支援事業150万円、災害救助費



147万円などの新規事業、農林水産業費では、総合対策事業費として肉用牛肥育施設整備事業補助金1,440万円(県費2分の1補助あり)、教育費では、旧祖峰中学校耐震調査委託料431万5千円、史跡等環境保全事業として竹田分館の設備整備1,680万6千円の新規事業、このほか市単独補助事業として、東日本大震災の被災者受入支援金63万円等が計上されたものであった。

第87回 全国市議会議長会定期総会

有害鳥獣対策を訴える加藤議長

全国市議会議長会の定期総会が6月15日、東京の日比谷公会堂で開かれ、九州部会(118市で構成)が提出した議案「抜本的な有害鳥獣対策」の補足説明で加藤議長が登壇し、中山間地域における有害鳥獣対策の必要性を訴えた。「イノシシやシカなどによる農作物被害は拡大の一途をたどっている」として国に抜本的な対策を要望し、全会一致で原案のとおり可決された。

全国市議会議長会表彰

第87回全国市議会議長会定期総会において、足達寛康議員が市議会議員在職10年以上の実績により表彰の榮譽に浴されました。



表彰を受けた足達寛康議員

第87回 全国市議会議長会定期総会



有害鳥獣対策の必要性を訴える加藤議長

佐伯市議会の「議会報告会」視察

議会改革調査特別委員会が5月17日・19日、2班に分かれ佐伯市議会の「議会報告会」を視察研修しました。



一 般 質 問

平成23年第2回定例会では、6月9・10日の2日間、8名の議員が一般質問を行いました。その内容を要約してお知らせいたします。
 なお、原稿は議員本人が執筆しています。



吉竹 悟 議員

市設置型合併浄化槽について

吉竹 現在の推進状況は。環境衛生課長 16年度から22年度まで798基設置。23年度は交付金が削減され35基程度の設置計画となる。吉竹 合併浄化槽の推進は、地場産業の育成・経済活性化も担っている。新築家庭や設置希望家庭への政策が必要ではないか。

市長 35基程度ではニーズに对应えられない。最低でも70基の設置計画を組み立て、一般財源で予算化し9月定例会に計上する。



合併浄化槽の推進を!

農業集落排水事業の今後は

吉竹 荻・久住地区の加入率と一般会計繰出し額はいくらか。

環境衛生課長 23年2月現在、荻は55・7%、久住は77・4%で繰出し額は69,583千円。100%の加入であれば、繰出しはほぼ不要となる。

吉竹 市職員はもとより特別公務員には、率先して推進すべきである。

交付税確定による23年度の公共事業は

吉竹 特別交付税が確定し3億461万6千円を基金として積み立てているが、経済浮揚のため如何に予算を組むのか。

財政課長 22年度末基金残高は、合併後最大の32億5,000万円となった。

市長 市の景気は厳しい状況にある。市民のために政策予算として経済浮揚のために活用する。

吉竹 直入荘の再生には、地域審議会の存続の答申がある。来る時期には、政治的判断が必要ではないか。

市長 議会の強い意向を基に継続した地域審議会は重いものである。借り入れではない、内部資金を充てる方向で早期に実施したい。

この外、くじゅう連山東部開発について、及び防災計画について質問した。



岩屋 千利 議員

川崎重工業(株)への要請について

岩屋 遊休地の無償譲渡を含む要請行動のその後の経過は。

直入支所長 市として二度にわたり本社に出向き要請をした。同社から前向きに検討したいとの言質を得ており、今夕副社長他が回答書を携えて来市の予定である。

建設課長・企画情報課長 市外からの移住による子育て支援あるいは農村回帰の推進を図る上からも協議が整えば当該の宅地化等有効活用を考えたい。



土地の西側約43haが無償譲渡される川崎重工業(株)遊休地

市有林の適正管理について

岩屋 広大な市有林の適正管理に資するため基礎台帳の整備を。

財政課長 重要な課題であり電算によるデータベース化と併せ管理台帳の整備を進めたい。

長湯温泉の振興策について

岩屋 長湯温泉の更なる浮揚振興策の一つとして隣接する丘陵台地に道路を新設しては。

直入支所長 当該地への道路新設は地域振興に有益と思われる。建設課長 当面は作業道等で手掛け段階的に周辺整備も含め観光道路としての機能を充実していけば魅力ある土地となる。

市長 当該道路の新設は市民に夢と元気を与える施策になると思われる。地域の盛り上がりも見えてきた。まさに機は熟した感もあり実現に向けて努力したい。

竹田市温泉(炭酸泉)資源涵養条例について

岩屋 合併時制定された同条例を実効性のあるものにしては。

直入支所長 合併時旧直入町の条例を基に本市の条例として制定した。旧直入町の条例では水源の保護涵養を目的に広葉樹の植付には補助金交付の条文があったが、当市ではその項を規則に委ね未整備のまま推移している。

市長 近時の異常気象等大局的な見地からも同条例を実効性のあるものにするため前向きに検討したい。竹田の特性を活かした名水名湯涵養条例等の名称の変更も併せて考えてみたい。

「城下町エニア」のまちづくりについて



阿部 雅彦 議員



城下町再生フォーラムの様子(5/21)

阿部 城下町再生フォーラムの総括と今後の取組は。企画情報課長 フォーラムで明らかになった価値観や情報を行政と市民が共有をし、市民の皆さんが提案者・実践者となるまちづくりのスタートとしたい。阿部 まちづくりのビジョンとそれを実現するための組織とシステムをどう考えるのか。市長 多くの市民運動を横断的にトータルコーディネートして最終的にはエコミュージアム構想実践委員会が大きなくくりでもって決める事が

「温泉・観光・通院・買い物バス」共同運行事業について

望ましい。阿部 図書館構想の今後は。教育長 図書館のみを深彫りをせず、都市計画マスタープラン等を軸として考え、広く市民の声を聞きながら進めたい。

阿部 たけたミニバス等の運営状況と今後の取組は。企画情報課長 昨年度は1便平均36人、延べ5,690人の利用。今後は市民3千人にアンケートをお願いし、地域交通計画の見直しを行う。阿部 市民や観光客も利用できる温泉・観光・通院・買い物バスを運行させてはどうか。

世界へ平和を発信していく「殉空の碑」の取組について

企画情報課長 観光客の交通手段の必要性も認識しているし、地域の施設や場所の公平性も考慮しながら、交通事業者と連携して協議をしていくところから始めていきたい。

阿部 市民と行政が連携し合い殉空の碑の取組をしては。総務課長 恒久平和に向けて市民の思いが集約されることが大前提であり、平和のシンボルとして対応していく取組については行政として慎重に対処していきたい。

東日本大震災の教訓から



佐田 啓二 議員

佐田 公共施設の耐震性は。総務課長 耐震構造ではない庁舎は下木分庁舎と荻支所で、地域審議会に庁舎のあり方の検討を諮問している。中学校の耐震補強工事は完了。小学校は平成26年度までに完了予定。佐田 消防庁舎の建設は。消防長 平成24年度基本設計、25年度に実施設計となっているが、前倒しで進めたい。



懇話会を立ち上げ検討される消防庁舎建設

佐田 機能や場所の選定は市民の納得が必要不可欠だが。消防長 現在、消防本部内の検討委員会と副市長を委員長とする全庁的

な検討委員会で調査研究をしているが、今後は各種団体、組織代表を入れた懇話会を立ち上げ検討したい。佐田 救急医療体制の確立は。健康増進課長 2次救急医療体制の確立については医師会、医師会病院等関係機関と医師の確保に向け協議を進めている。

佐田 豊後大野市民病院への搬送実績はこの3年間で倍増している。豊後大野市との協議を進めることについてどう考えるか。市長 双方、医師不足の解消という点において豊後大野市民病院との連携のため県担当課を軸に自治体間での懇談の場を早期に設置することにしている。

道路網整備計画について

佐田 高規格道路の大野く竹田間の進捗状況と見通しは。建設課長 朝地インターまでは26年度までに完成。竹田インターまでは28年度以降というだけで未定。全体の工事の進捗率は49%となっている。佐田 幹線市道の改良率は。

建設課長 竹田地域62・8%、荻地域95・7%、久住地域97・1%、直入地域94・0%。佐田 幹線の整備促進方針については、市土の均衡ある発展のために均衡の取れた整備促進を強く要望し、質問を終えた。



渡辺 克己 議員

温泉療養保健制度について

渡辺 温泉療養が医療保険対象となることを目的に医療機関と連携し事業の実施が検討されてきたが、今回この事業の内容と医療機関との連携について伺う。

商工観光課長 長期滞在者については通常の医療行為で対応。医療機関との連携については今後実施の他事業の推進と併せ医師会と協議する。

渡辺 実証実験事業としているが何をやるのか。

商工観光課長 4か月毎の3期間に分け内容を変えて実証実験を行う。

渡辺 目的は問わず長期滞在者が対象とあるが竹田市民についてはどうか。

商工観光課長 竹田市民についても同様の扱いである。

渡辺 実証実験事業としての効果の検証をどうするのか。

商工観光課長 全国初の取組であり各界から期待されているものである。

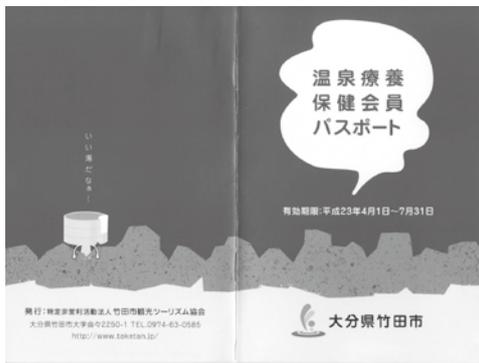
渡辺 この事業の公益性についてどう考えるのか。

商工観光課長 他市事例等、また連泊に対する経済効果から公益性があるものと考えられる。

市長 温泉療養への期待度が予防医学や観光振興の立場から高まっている。全国に先駆け取り組むことに意義がある。

渡辺 竹田市の長期的な取組として長期滞在のできる温泉保養地（ドイツ発祥のクワフォルト）を目指してはどうか。

市長 保険制度導入を目指して、全国から注目されている、この温泉療養保健制度事業に取り組んでいきたい。



温泉療養保健会員パスポート

すごう農産加工所について

渡辺 すごう農産加工所計画について。

農政課長 協同組合を組織し四千万円強の売り上げを予定している。

渡辺 一次産業である農業主体の加工をお願いする。

防災対策について



河野 泰浩 議員

河野 防災拠点となる消防署には市民の安心・安全を守る大きな任務がある。全国の消防職員は5万人不足しているという。竹田市は。

消防長 条例定数62名で不足していない。

河野 一般家庭の耐震診断は。総務課長 6月の「広報たけた」で助成制度を知らせている。

原子力発電所事故について

河野 事故発生直後、想定外とよく言われたが、日本共産党吉井英勝議員は2006年水素爆発等チェルノブイリ事故を想定した対策、さらに大地震と津波で原子炉の冷却不能の対策を質問した。答弁は「そういうことはありえない。しかし現実には事故は起きた。チェルノブイリでは5年後180km離れた町で真新しい団地がもぬけの殻となった。竹田市は伊方原発から何kmか。

農政課長 伊方から約100km、玄海から156kmである。

河野 竹田市も危険なことがよくわかった。自然エネルギーへの転換を

県・国に要望すること。市長 全国市長会でも代替エネルギーが大きく取り上げられた。原発事故を考えると、ソーラーシステム・風力発電・地熱発電等、国策として取り組むよう全会一致で国に要望した。

河野 県・国を動かす、声を大にして原発は中止させる。経費もかかるが人の命には代えられない。



自然エネルギーへの転換を!

渇水対策について

河野 昨年から異常な少雨で大変な水不足。特に荻地区は深刻な状況だが現状はどうか。

荻支所長 トマト農家を中心に大蘇ダムのファームポンドの水を散水車3台で3日おき、ローテーションで給水を実施。作業は支所・農協・県の職員が当たった。

河野 大蘇ダムの抜本的対策を。農林整備課長 関係市村で国に要望していく日程を調整中だ。

※ファームポンド：水源から送られてくる用水をいったん貯留し、かんがい時に集中的に使うため、水量調整用に設置した小溜池。

国民宿舎直入荘について



井 英昭 議員

井 3月定例会の一般質問でいつ予算を提案するのかと問った。

答弁では、「状況が許すようであれば6月定例会が一番適切と判断している」とのことだったが6月補正予算に改修費が計上されていない。その理由は。

直入支所長 本定例会での予算計上を確約したのではない。しかしながら存続の方向性は変わるものではない。

井 2月18日に直入荘の今後について4つの方法論が示されたが、どのような内容か。

直入支所長 ①売却による存続、②直入荘と久住高原荘を統合した管理運営、③指定管理制度の導入、④現行の市直営方式。

井 ②の直入荘と久住高原荘の統合だが、現在のどの程度議論が進められているのか。

直入支所長 決定はしていないが、今はこの②の方向性で進めようという程度。

井 直入荘は市直営だが、久住高原荘を運営している(助)やすらぎ観光公

社には統合する話をしているのか。直入支所長 把握していない。話をしていないと思う。

井 耐震補強工事の積算書が新たに示されたそうだが、既に示されていたのではなかったか。償還計画など、これまでの説明と整合性はとれるのか。

直入支所長 東日本大震災の影響で原材料が高騰している。積算の結果を見てからどうするか決めたい。

井 財源を再度確認する。

直入支所長 現時点の概算合計は2億1,890万6千円。そのうち耐震工事の補助金を除けば1億9,738万4千円となり、全額一般財源を充当する。

井 一般財源は市民みんなのお金である。花水月のようにならないかと多くの市民が心配していることを伝えておく。



直入荘と統合した管理運営の方向で進められる久住高原荘

城下町の再生について



渡辺龍太郎 議員

渡辺 東京大学大学院景観研究室の研究発表を関係各課はどう捉えて推進するのか。

企画情報課長 これまで竹田市民が日常意識をせず見ている景観そのものに加え、情感の世界が息づいていること、城下町の構造は歩くことに最適化されていること、一人で行うこと、みんなで行うことの実践が情感を養う風景になっていくこと等の提案を受け、城下町再生ビジョンの最初の一步になった。今後は、多くの市民の方に参加をしていただき、まちづくりに対する意識の高揚と、その方向性について認識の共有を図っていく。

教育総務課長 今回、まちの豊かさである情感を活かし、「市民みんなで共有できる城下町の中の図書館を」という提案をいただいた。竹田市の特性を理解し、将来につながることも配慮した内容と感じている。

今後は、エコミュージアム構想や、都市計画マスタープランを基軸とした城下町再生プロジェクト等、庁内の横断的な協議をはじめとして、市

民に意見をいただくことから始め、図書館建設についてはその後になる。商工観光課長 今後は、研究結果を踏まえ歴史背景を考慮し、まちづくりや修景事業などの環境整備を進めていく。中心市街地の活性化は、地域、行政、研究室の皆さんと意見交換をしながら「竹田らしさ」を活かしたまちづくりを進めていく。

建設課長 今回の調査結果は、城下町の特長や地理的条件を活かした獨創性のあるまちづくり策として、将来計画への手がかりにつながる。プラン策定には、住民の理解と参加が不可欠であり、ワークショップ形式による市民参加型の会議を行い、より良い計画を策定するよう努める。



第1回まちづくり工房【市民参加型の会議】(7/16 竹田地域会場)

平成 23 年第 2 回定例会 (平成 23 年 6 月 6 日～ 24 日)

議案等の審議結果		
報告第1号	専決処分事項「平成22年度竹田市一般会計補正予算(第10号)」について	承 認
報告第2号	専決処分事項「竹田市税特別措置条例の一部改正」について	承 認
報告第3号	専決処分事項「竹田市国民健康保険税条例の一部改正」について	承 認
報告第4号	専決処分事項「竹田市国民健康保険条例の一部改正」について	承 認
報告第5号	専決処分事項「竹田市税条例の一部改正」について	承 認
報告第6号	専決処分事項「平成23年度竹田市一般会計補正予算(第1号)」について	承 認
報告第7号	専決処分事項「平成23年度竹田市同和对策事業特別会計補正予算(第1号)」について	承 認
報告第8号	専決処分事項「平成23年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」について	承 認
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者適任
議案第64号	平成23年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第65号	平成23年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第66号	平成23年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第67号	平成23年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第68号	平成23年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第69号	竹田市固定資産評価員の選任について	同 意
議案第70号	竹田市教育委員会委員の任命について	同 意
議案第71号	竹田市暴力団排除条例の制定について	可 決
議案第72号	竹田市県営土地改良事業施行に伴う換地処分等の評価委員会条例の一部改正について	可 決
議案第73号	竹田市手数料条例の一部改正について	可 決
議案第74号	竹田市大平ふるさと交流の家条例の廃止について	可 決
議案第75号	財産の無償譲渡について	可 決
議案第76号	動産の買入れについて	可 決
議案第77号	市道路線の廃止及び認定について	可 決

請願・陳情・意見書の審議結果		
請願第3号	市道「長慶橋宇津線」の改良に関する請願	採 択
請願第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出を求める請願	採 択
陳情第1号	インターネット学習環境整備についての陳情	採 択
意見書案第2号	義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書	可 決

平成 23 年 第 2 回臨時会 (平成 23 年 7 月 19 日)

議案等の審議結果		
議案第78号	平成23年度竹田市一般会計補正予算(第3号)について	可 決
付議事件	竹田市農業委員会委員の推薦について	推 薦 決 定

市議会 ホームページ

本会議の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。

竹田市議会 検索

竹田市議会 <http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

お問い合わせは **議会事務局** まで ☎63-4813

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどのあいさつ状を廃止させていただいております。

また本年度初盆を迎えられるご親族への供物等につきましても失礼させていただきます。

新仏のご冥福をお祈りいたします。

竹田市議会

議会と市民を結ぶ架け橋として頑張ります!



副議長 和田 幸生

議長 加藤 正義

副議長 森 哲秀

副議長 日小田 秀之

委員 佐田 啓二

委員 阿部 雅彦

副委員長 岩屋 千利

委員長 河野 泰浩

市議会だより編集委員会の新しい委員が決まりました。

これからも、親しみのあつくり「市議会だより」の紙面づくりに努めますので、よろしくお願いたします。

市議会だより編集委員会